

令和7年度 箕面市議会行政視察報告書

(民生常任委員会)

1 日程

令和8年2月5日(木)

2 視察先

愛知県名古屋市

視察項目	介護予防と健康長寿の取り組み、「フレイル予防ポイント&見守りアプリ」について
視察目的	アプリを活用したフレイル予防の取り組みについて、名古屋市の現状と課題を学ぶ

3 参加者

委員	中嶋委員長、吉田副委員長、金森委員、竹内委員、浦川委員、岡沢委員
----	----------------------------------

愛知県名古屋市

項目	内容	備考
名古屋市について	<ul style="list-style-type: none"> ・人口：2,310,025人 ・世帯数：1,207,309世帯 ・面積：326.46km² 	説明者： 名古屋市会事務局
事業実施の背景と経過について	新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者の外出機会が減少し、対面での見守りが困難となった。ICTを活用した見守り施策を進めるため実態調査を行い、フレイル予防に対するポイント制度について検討。株式会社NTTドコモと委託契約し、令和5年2月事業を開始。	説明者： 健康福祉局 高齢福祉部 高齢福祉課
事業の概要および特色について	40歳以上の市民を対象とし、フレイル予防活動（体操動画の視聴、通いの場への参加）でポイントを獲得。獲得ポイントはdポイントに交換可能。65歳以上は見守り機能の利用が可能。（いずれも無料）	
事業実績、効果、課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場への参加や体操動画、フレイル予防情報閲覧のほか、市民講座を開設し、通いの場主催団体を増やす。 ・名古屋市立大学への委託により、アンケートによる効果検証を実施。 ・対象者数140万人に対しアプリ登録者数は8,590名（令和7年3月）。はつらつ長寿プランなごや2026に掲げる利用者1万人をめざす。 	
名古屋市 <small>こじょう</small> 鯉城学園について	高齢者の教養の向上を図り、生きがいを高めるとともに、社会的活動への参加の促進に寄与するため昭和61年開学。平成8年、鯉城学園条例制定に伴い、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会が指定管理者となる。	



所感

- ・名古屋市は長きに渡り高齢者の社会活動への参加を促進し、フレイル予防への取り組みにつながっている。
- ・実施からおよそ2年の事業であり、データが少ないが、名古屋市立大学と連携し、検証を進めている。
- ・超高齢化社会において、フレイル予防は重要な課題であり、箕面市においても通いの場を増やす工夫、独居高齢者への見守りなどを推進していくことが必要であると考えます。